



関東ジュニア大会18歳以下
男子単優勝 坂川 広樹 選手



関東ジュニア大会18歳以下
女子単優勝 小林 ほの香 選手



CONTENTS

「テニスを手にするまで」

関東テニス協会会長 寺澤 辰磨	2	DUNLOP SRIXON全日本ジュニアテニス選手権'18	11
第92回 関東オープンテニス選手権大会	3	第4回グラスホパージュニアテニスカンプ	12
第92回 関東ジュニアテニス選手権大会	5	第57回関東実業団対抗テニストーナメント	13
PLAY & STAYイベントの報告		第33回関東実業団対抗テニスリーグ戦	13
第36回 第一生命 全国小学生テニス選手権大会	8	第42回全日本都市対抗テニス大会	14
ATF 14/U須玉国際ジュニアテニストーナメント2018	9	第73回福井しあわせ元気国体2018テニス競技	14
第45回 全国中学生テニス選手権大会	10	第26回指導者のためのリフレッシュ講習会	15
平成30年度全国高等学校総合体育大会	10	委員会よりお知らせ(審判委員会)	15

テニスを手にするまで



50歳でテニスを始めました。その切っ掛けは、転居後近所に住む先輩ご夫婦から、近くのテニスクラブで一緒にプレーしようとお誘いをいただいたことでした。

学生時代に軟式テニスを少しやっていましたので、硬式テニスもそんなに変わらないだろうと高をくくって、その気になりました。

クラブに入会する前に、当時鶴川にあった輪開銀グラウンドのコートで、上手な方に打ち方を教えていただきました。それは、ふすまを開けるように打つというスタイルで、しばらくその打ち方を練習しましたが、どうも感覚的にしっくりしませんでした。というのも、軟式のストロークは、ラケットを厚く握り、上から叩きつけるような打ち方でしたので、全く勝手が違い、この癖が却って障害となりました。

先輩の紹介でクラブに入会し、先輩が参加されていたレッスンに入れていただきました。

このレッスンは、永年女子のクラブチャンピオンを取った浅沼栄子さんが、ご主人を教える際に同時に何人かの初心者ボランテアで教えるというものでした。従って、生徒はほぼ全員クラブランキング最下位のC級で、私は毎週土曜日午前中じっくり基礎を繰り返し教えていただきました。

最初に先生から言われた言葉は、「寺澤さん、格好悪いですよ！」でした。その頃よく言われた注意事項を思い出すと、重心を拇指球に置いて立つ、常にスプリットステップをする、ラケットを早く引いて構える、軸足をしっかり踏みしめる、ベースラインから大きく下がらない等々でした。頭では理解できても、身体が思うように動かない歯痒さを感じながら、次第にテニスの魅力の虜になっていきました。

浅沼レッスンの生徒は、皆似たり寄つたりのレベルですから、時々面白いことが起きます。ある時、「ボシキュウに乗って！」と言われたある夫人が、「どうすれば子宮に乗れるのかしら？」と真面目に悩まれたことがあり、ボシキュウを母子宮と勘違いしたことで爆笑したことがあります。

最初の頃は、試合をしてもご夫人のペアに簡単に敗れ、悔しい思いをしたものです。ミスをせず、相手の嫌がる場所に打てばいいと頭では分かっているけど、どうしても力んでしまい、自滅することが多い状況でした。

テニス熱は高まるばかりで、テニスをする人には必ずテニスの話題をふっかけ、悩みを話したりしていました。ある時、壁打ちで100回続けて打つことができるまで練習したらいいとアドバイスされ、約3年間毎日壁打ちの練習をしました。その成果もあり、クラブに入会して6年目にB級に昇格しました。しかしこの頃、強い球を打とうとしたためテニス肘を患ってしまいました。壁打ちの練習で、腕でラケットをコントロールする癖がついてしまったためだと思います。

浅沼レッスンでは、テニスエルボーにならないため、身体を使って正しく打つことを徹底して指導していただき、そのおかげで入会10年目にA級に昇格することができました。

現在は、よりレベルの高い練習内容となっており、例えば、ライジングボールを打つ練習などを行っています。

10年位前に、坂井利郎さんのテニス教室に参加してお話を伺った際、テニスは70歳まで上達すると言われ、10年も上達するのかと希望を持って練習したものです。しかし、現在71歳になってみて、確かに体力的には衰えを痛感していますが、メンタル面でそれをカバーして、テニスを楽しんでいます。できれば、80歳までプレーしたいと考えていますが、どうなることでしょうか。

高齢化社会の波は、我がテニスクラブにも押し寄せてきており、皆さん試合数は減っても楽しく元気にプレーされ、プレー後の美味しいビールを楽しんでいます。これを、託老所だと悪口を言う人もいますが、テニスを通じて元気に老後を過ごすことができれば、最高だと思っているこの頃です。



関東テニス協会会長
寺澤 辰磨

第92回関東オープンテニス選手権大会

一般の部:2018年5月21日(月)~5月26日(土) 予選17日(木)、18日(金) 有明テニスの森、昭和の森

ベテランの部:2018年5月14日(月)~5月20日(日) 厚木(~18日)、小田原、千葉曾我、栃木 5月21日(月)~5月27日(日) 小田原、千葉曾我、昭和の森 5会場



一般の部

第92回関東オープン選手権大会一般の部は、例年開催していた有明テニスの森公園コートがオリンピック会場改修のため全面使用できず、男子は有明テニスの森公園コートで女子は昭和の森テニスセンターコートで開催されました。

男子は、単・複共に学生同志の対決となり接戦の末、筑波大学の川橋選手が初優勝しました。ダブルスは慶應大学今村・福田組が完勝し、初優勝となりました。

女子は亜細亜大学松田選手がプロ選手に完勝し初優勝しました。ダブルスは、早稲田大学の先輩、後輩ペアの下地・宮村が初優勝しました。

今大会は天候にも恵まれ、特に学生若手選手の活躍が目立ち、今後が期待される大会でした。

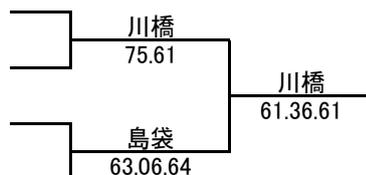
○一般男子シングルス

川橋 勇太(筑波大学)

川上 倫平(荏原SSC)

島袋 将(早稲田大学)

今村 昌倫(慶應義塾大学)



○一般男子ダブルス

岡垣 光祐(法正大学)

藪 巧光(法政大学)

齊藤 秀(テニスハウスfun)

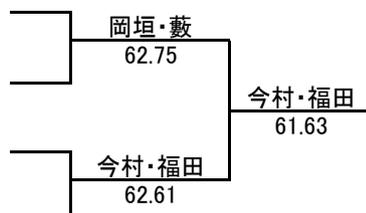
高田 航輝(佐鳴台ローンテニスクラブ)

今村 昌倫(慶應義塾大学)

福田 真大(慶應義塾大学)

星木 昇(中央大学)

楠原 悠介(法政大学)



○一般女子シングルス

フリアント エイミ(J・STAP)

松田 美咲(亜細亜大学)

古屋 美智留(プロ・フリー)

小林 真理香(プロ・フリー)



○一般女子ダブルス

尾関 彩花(テニスユニバース)

長船 香菜子(テニスユニバース)

古屋 美智留(プロ・フリー)

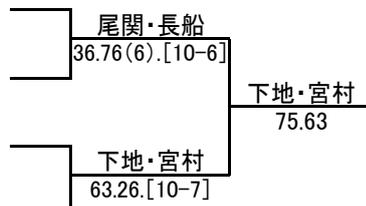
森本 凧咲(PLUS LIST)

下地 奈緒(早稲田大学)

宮村 美紀(プロ・フリー)

阿部 有紗(山梨学院大学)

西里 夏子(山梨学院大学)



川橋 勇太

島袋 将



今村昌倫 福田真大 岡垣光祐 藪 功光



松田 美咲

古屋 美智留



下地奈緒 宮村美紀 尾関彩花 長船香菜子

ベテランの部

第92回関東オープン選手権大会ベテランの部は、全日本ベテランに次ぐベテランJOPのBグレード大会として、5月14日(月)から2週間にわたり、厚木、小田原、千葉蘇我、栃木、昭和の森の5会場で、各主管都県協会の運営、ご協力により開催されました。

この大会は、第17回関東オープン選手権大会(昭和16年)の壮年種目として45歳以上の選手が参加して始まりました。本年も、男子・女子とも35歳以上～85歳以上の単複合計38種目(女子35歳単複・女子80歳単・女子85歳単複、男子85歳複は不成立)に、全国からシングルス1003名、ダブルス460組の選手が参加し、各会場で熱戦が繰り上げられました。

80歳を過ぎてでもなお競技者としてプレーする選手の姿を見ると、生涯スポーツとしてのテニスの幅広さ、奥深さ、素晴らしさを改めて痛感させられました。

来年も参加される選手にとって、より良い大会になるようベテラン委員会を挙げて、努力していきたいと思っています。

ベテランの部 優勝者・ペア

男子35歳以上S	向 和彦(アポロコーストテニスクラブ)	女子40歳以上S	齋藤 千穂(庭球工房)
男子35歳以上D	安部 将大(船橋さくらテニスクラブ)	女子40歳以上D	土屋 美帆(鎌倉宮カントリーテニスクラブ)
	竹中 亮馬(テニスユニバース)		木次 桜(テニスユナイテッド)
男子40歳以上S	道田 光(T I - C u b e)	女子45歳以上S	片山 恵子(マス・ガイアテニスクラブ)
男子40歳以上D	高橋 吉昌(二本松眼科)	女子45歳以上D	笠井 和子(松原TC)
	四十八願 淳一(テニスウィット)		村田 珠美(I H S Mアリーナ)
男子45歳以上S	斉藤 和裕(マス・ガイアテニスクラブ)	女子50歳以上S	河辺 美枝(巧庭球塾)
男子45歳以上D	斉藤 和裕(マス・ガイアテニスクラブ)	女子50歳以上D	高橋 正枝(マス・ガイアテニスクラブ)
	土屋 年史(L e a d s)		橋本 淳子(Z E P H Y R)
男子50歳以上S	相場 学(館林ローンテニスクラブ)	女子55歳以上S	角 元子(芦屋国際ローンテニスクラブ)
男子50歳以上D	梅川 和哉(E l d o . r a . d o)	女子55歳以上D	角 元子(芦屋国際ローンテニスクラブ)
	山根 知(船橋さくらテニスクラブ)		橋場 治子(明治神宮外苑テニスクラブ)
男子55歳以上S	佐藤 幸裕(S・T・P)	女子60歳以上S	小泉 幸枝(プロ・モリタテニス企画)
男子55歳以上D	沼尻 満男(J S P I)	女子60歳以上D	佐谷 真理(プロ・ミズノ)
	藤原 慎一(リーファインターナショナルテニスアカデミー)		小泉 幸枝(プロ・モリタテニス企画)
男子60歳以上S	渡辺 正宏(寒川ローンテニスクラブ)	女子65歳以上S	中山 明代(大正セントラルテニスクラブ目白)
男子60歳以上D	倉島 英造(東京ローンテニスクラブ)	女子65歳以上D	境 真由美(横浜スポーツマンクラブ)
	廣岡 孝通(K P I)		森山 郁野(S P T C)
男子65歳以上S	堀田 義男(東京ローンテニスクラブ)	女子70歳以上S	江沢 好美(クレールITS)
男子65歳以上D	麦 富栄(塩見塾)	女子70歳以上D	北村 紀美子(青梅市テニス協会)
	草野 貢二(町田ローンテニスクラブ)		西村 民子(東京グリーンテニスクラブ)
男子70歳以上S	竹下 友基(アイ・テニスクラブ)	女子75歳以上S	鈴木 正枝(セントマリアホスピタルT・C)
男子70歳以上D	塩見 芳彦(湘南ハンドレッドテニスクラブ)	女子75歳以上D	南井 多恵子(江戸川台テニスクラブ)
	竹下 友基(アイ・テニスクラブ)		鈴木 正枝(セントマリアホスピタルT・C)
男子75歳以上S	松井 成男(庭仁貴知テニスクラブ)	女子80歳以上D	中島 多恵子(八王子アイビーテニスクラブ)
男子75歳以上D	古谷 和男(駒ヶ根テニス協会)		野本 洋子(千葉県シニアテニスクラブ)
	今中 隆雄(ブルドンウィン)		
男子80歳以上S	森 健(小平テニスクラブ)		
男子80歳以上D	鈴木 克己(T G レニックス)		
	尾崎 隆夫(T G レニックス)		
男子85歳以上S	岡田 進(三重グリーンテニスクラブ)		

第92回関東ジュニアテニス選手権大会

2018年7月14日(土)~7月19日(木) 予備20日(金) 会場:アポロコーストテニスクラブ



○18歳以下男子シングルス

白石 光 (有明ジュニアテニスアカデミー)	白石 光 6-4 7-6(3)	丹下 将太 6-3 6-3	坂川 広樹 6-3 2-6 6-4
矢島 淳揮 (ルネサンス鷹之台TC)			
菅谷 拓郎 (慶応義塾高校)	丹下 将太 6-2 6-2		
丹下 将太 (早稲田実業学校高等部)			
坂川 広樹 (楠クラブ)	坂川 広樹 6-2 7-6(3)		
松田 康希 (荏原SSC)			
平野 太陽 (TEAM YONEZAWA)	坂川 広樹 6-1 6-1		
川上 倫平 (荏原SSC)			
平野 太陽 (TEAM YONEZAWA)	平野 太陽 6-3 7-6(6)		



優勝 坂川 広樹 (楠クラブ) 左

連日暑い中での試合が続いて、かなりタフな試合だったので大会が終了してホッとしています。毎日サポートして頂いた全ての人に感謝申し上げます。今後の目標は、インターハイ出場・全日本ジュニアで少しでも多く勝つこと。一つ一つのショットの精度をより高めたい。海外でも戦っているテクニク・フィジカルを身につけて国際大会で活躍したい。

○18歳以下男子ダブルス

丹下 将太 (早稲田実業学校高等部)	丹下・白石 6-2 6-0	丹下・白石 6-2 6-4	
白石 光 (有明ジュニアテニスアカデミー)			
保坂 駿太 (エストテニスクラブ)	川上・田中 6-4 3-6 [10-4]		
川上 倫平 (荏原SSC)			
田中 瑛大 (荏原SSC)			
青木 源 (ミナグリーンテニスクラブ)			
高木 駿太 (太田高校)			

○16歳以下男子シングルス

石井 涼太 (INABA T.S.)	飯田 翔 5-7 7-5 7-5	飯田 翔 6-3 6-1
飯田 翔 (足利大学附属高校)		
山田 倫太郎 (U.T.PあたとCTC)	山田 倫太郎 7-5 2-6 6-3	
有本 響 (桜田倶楽部)		
齋藤 成 (湘南工科大学附属高校)	齋藤 成 3-6 6-1 6-0	望月 滉太郎 7-6 5-7 6-1
高木 凌 (クリエイトTA)		
加藤 木 塁 (埼玉平成高校)	望月 滉太郎 6-0 6-4	
望月 滉太郎 (荏原SSC)		



優勝 飯田 翔 (足利大学附属高校) 左

正直優勝出来ると思っていなかったのが今はとても嬉しいです。決勝では今まで一度も勝ったことがない相手だったので勝つことができ良かった。準々決勝は4時間以上の試合で、途中で集中力が欠けてしまった。長時間の試合の時でも最後まで集中できるように精神力を鍛えたい。全日本優勝を目指して練習を重ねて、そして世界で戦っていけるような選手になりたい。

○16歳以下男子ダブルス

村松 陸 (東京学館浦安高校)	村松・渡辺 6-3 7-5	望月・齋藤 6-2 7-6(2)
渡辺 莞 (吉田記念テニス研修センター)		
飯泉 涼 (東洋大附属牛久高校)	望月・齋藤 7-5 6-4	
飯田 翔 (足利大学附属高校)		
加藤 木 塁 (埼玉平成高校)		
木原 啓太 (早稲田実業学校高等部)		
望月 滉太郎 (荏原SSC)		
齋藤 成 (湘南工科大学附属高校)		

○14歳以下男子シングルス

山田 矢音 (桜田倶楽部)	山田 矢音 6-3 6-2	清水 勇至 7-5 3-6 6-4
立石 翔大 (INABA T.S.)		
清水 勇至 (浦和パークテニスクラブ)	清水 勇至 4-6 6-4 6-2	
山内 日斗 (フミキエス市川テニスアカデミー)		
仁島 清嘉 (狛江インドジュニアATPチーム)	三好 健太 6-3 6-3	清水 勇至 7-5 3-6 6-4
三好 健太 (桜田倶楽部)		
細川 暖生 (京王赤城アカデミー)	笹元 紀吾 6-1 7-6(8)	
笹元 紀吾 (レニックステニススクール)		



優勝 清水 勇至 (浦和パークテニスクラブ) 左

とても暑い中、一週間にわたって一緒に戦い抜いてくれたコーチ、お母さんには感謝で一杯です。今大会ではフォアハンドのミスが多かったので、全日本までに立て直しを図って出場致します。将来はウインブルドン大会に出場しタイトルを取る予定です。

○14歳以下男子ダブルス

石島 丈慈 (レニックステニススクール)	石島・笹元 7-6(7) 6-0	山内・橋本 6-3 6-3
笹元 紀吾 (レニックステニススクール)		
吉田 大輝 (宇都宮サンテニスクラブ)	山内・橋本 2-6 6-0 [10-8]	
大沼 広季 (リハーテニススクール)		
古姓 寛樹 (ロイヤルSCテニスクラブ)		
大房 陽向 (BASIS)		
山内 日斗 (フミキエス市川テニスアカデミー)		
橋本 圭史 (フミキエス市川テニスアカデミー)		

○12歳以下男子シングルス

大岡 歩生 (Hills K-Nagatsuka TA)	}	大岡 歩生 6-0 6-1	}	大岡 歩生 6-2 6-1	}	本田 尚也 6-4 7-5
泉 浩大 (上野山テニススクール)						
前田 透空 (吉田記念テニス研修センター)						
木村 一翔 (たちかわジュニアテニスアカデミー)	}	前田透空 6-2 6-2	}	本田 尚也 2-6 6-2 6-3	}	本田 尚也 6-1 6-0
海野 優輝 (CSJ)						
高橋 凜羽 (京王赤城アカデミー)	}	海野 優輝 6-2 6-1	}	本田 尚也 2-6 6-2 6-3	}	本田 尚也 6-1 6-0
高橋 遼介 (荏原SSC)						
本田 尚也 (サトウGTC)						

○12歳以下男子ダブルス

前田 透空 (吉田記念テニス研修センター)	}	佐々木・海野 6-3 7-6(3)	}	大岡・大房 6-4 6-3
土田 優人 (SYSテニスクラブ)				
佐々木 智哉 (STT)				
海野 優輝 (CSJ)	}	大岡・大房 6-1 4-6 [10-5]	}	大岡・大房 6-4 6-3
曾根 大洋 (荏原SSC)				
當仲 優樹 (S.ONEグリーンテニスクラブ)				
大岡 歩生 (Hills K-Nagatsuka TA)				
大房 祐星 (BASIS)				

○18歳以下女子シングルス

西郷 里奈 (志津テニスクラブ)	}	西郷 里奈 6-1 6-0	}	西郷 里奈 6-3 6-1	}	小林 ほの香 6-2 6-4
川村 茉那 (CSJ)						
早川 エレナ (グリーンテニスプラザ)	}	長門 桃子 6-3 7-5	}	小林 ほの香 6-4 3-6 7-5	}	小林 ほの香 6-4 6-4
長門 桃子 (吉田記念テニス研修センター)						
大川 美佐 (大磯テニスアカデミー)	}	神鳥 舞 6-4 7-6(3)	}	小林 ほの香 6-4 3-6 7-5	}	小林 ほの香 6-4 6-4
神鳥 舞 (桜田倶楽部)						
塩谷 夏美 (ひばりヶ丘新豊テニスクラブ)						
小林 ほの香 (荏原SSC)						

○18歳以下女子ダブルス

齊藤 唯 (TeamSatellite)	}	中山・西郷 4-6 6-2 [10-2]	}	吉川・染谷 7-5 6-1
神鳥 舞 (東京学館浦安高校)				
中山 麗未 (初石テニスクラブ)	}	吉川・染谷 4-6 6-5 Ret.	}	吉川・染谷 7-5 6-1
西郷 里奈 (志津テニスクラブ)				
丸 希星 (成田高校)				
田中 日南乃 (SOL Tennis College)				
吉川 ひかる (ひびエラ逗子マリナテニススクール)				
染谷 優衣 (荏原SSC)				

○16歳以下女子シングルス

伊藤 汐里 (グリーンテニスプラザ)	}	伊藤 汐里 6-4 6-2	}	伊藤 汐里 6-0 6-3	}	伊藤 汐里 6-4 7-6(1)
宮田 萌芳 (桜田倶楽部)						
浮田 愛未 (秀明英光高校)	}	河野 瑞生 3-6 6-2 6-4	}	大橋 由奈 6-1 6-2	}	大橋 由奈 7-6(3) 6-2
河野 瑞生 (U.T.PあたごTC)						
長谷川 優衣 (CSJ)						
西 飛奈 (昭和の森ジュニアテニススクール)						
大橋 由奈 (コートピア大泉テニスクラブ)						
中川 由羅 (ひびエラ逗子マリナテニススクール)						

○16歳以下女子ダブルス

毛呂 彩音 (たちかわジュニアテニスアカデミー)	}	毛呂・金子 6-2 4-6 [10-4]	}	毛呂・金子 6-2 7-6(7)
金子 さら紗 (たちかわジュニアテニスアカデミー)				
内島 舞子 (昭和の森ジュニアテニススクール)	}	内田・宮地 6-0 6-1	}	毛呂・金子 6-2 7-6(7)
西 飛奈 (昭和の森ジュニアテニススクール)				
内田 碧 (コートピア大泉テニスクラブ)				
宮地 蘭 (ビッグKテニス)				
中込 笑愛 (ISHII TENNIS ACADEMY)				
坂本 千代里 (エストテニスクラブ)				



優勝 本田 尚也 (サトウGTC) 左

第1シード選手との決勝で勝るとは思ってもいませんでした。試合中は確実にコースを突いて行くことができました。マッチポイントを5本ほど落としたので、大事な時ほどしっかりと打てるようにまた、夏の暑さに負けない身体にしたい。先ず全日本ジュニアで優勝を、そして世界で活躍できる選手になりたい。夢はグランドスラム(ウインブルドン)の本戦に出場すること。



優勝 小林 ほの香 (荏原SSC) 左

ジュニア最後の年齢でプレッシャーがかかる中、優勝出来たのは素直に嬉しいです。トーナメントで勝ち上がるには、1セット目を取った後の2セット目の入りや、セカンドセットで抑えて勝ち切ることがとても大切だと思います。技術面ではバックの精度をもっと上げられるように練習に励みます。将来はプロテニスプレイヤーを目指し、世界でも通用するようなプレーをして、世界で活躍できるような選手になりたい。



優勝 伊藤 汐里 (グリーンテニスプラザ) 左

関東ジュニアは2年ぶりの優勝ですごく嬉しいです。昨年一年間は中々勝てずに苦しかった一年でしたが、久々に良い結果が残せて自信が付きました。コーチ・両親に深く感謝しております。全日本ジュニアも優勝に向けて頑張ります。今年の夏はとても暑いので本番に向けて体力を鍛えます。グランドスラムジュニア大会に出場して勝てるように頑張ります。

○14歳以下女子シングルス

早重 果波 (あじさいMTCアカデミー)	早重 果波 4-6 6-3 6-3	麻坂 芽生 3-2 Ret.	石井 さやか 6-3 6-2
長谷川 采香 (たちかわジュニアテニスアカデミー)			
廣島 莉子 (昭和の森ジュニアテニススクール)	麻坂 芽生 6-2 6-2	石井 さやか 6-2 6-3	石井 さやか 6-3 6-2
麻坂 芽生 (フューエス市川テニスアカデミー)			
松井 七乃花 (神奈中テニススクール)	松井 七乃花 6-1 7-5	石井 さやか 6-2 6-3	石井 さやか 6-3 6-2
富田 晴翔 (アホロコーストテニスクラブ)			
小松 由茉 (東京都TA)	石井 さやか 6-3 6-3	石井 さやか 6-2 6-3	石井 さやか 6-3 6-2
石井 さやか (Team REC)			

○14歳以下女子ダブルス

橋本 沙耶 (H.Y.S)	橋本・風間 6-4 6-2	石井・阿出川 6-4 6-4
風間 菜花 (グリーンテニスプラザ)		
太田 南歩 (SOL Tennis College)	石井・阿出川 7-5 6-4	石井・阿出川 6-4 6-4
菊池 綾実 (初石テニスクラブ)		
石井 さやか (Team REC)	石井・阿出川 7-5 6-4	石井・阿出川 6-4 6-4
阿出川 暖乃 (Team REC)		
渥美 真優 (SOL Tennis College)	石井・阿出川 7-5 6-4	石井・阿出川 6-4 6-4
藤田 桃子 (志津テニスクラブ)		

○12歳以下女子シングルス

齋藤 咲良 (ミナグリーンテニスクラブ)	齋藤 咲良 6-1 7-6(5)	金巻 知里 6-1 6-2	クロスリー 真優 6-4 7-6(5)
青木 舞帆 (桜田倶楽部)			
金巻 知里 (葉山テニスクラブ)	金巻 知里 3-6 7-6(2) 6-3	クロスリー 真優 6-0 2-6 6-1	クロスリー 真優 6-4 7-6(5)
古谷 ひなた (有明ジュニアテニスアカデミー)			
小池 愛菜 (TPP)	中里 亜優菜 6-3 6-0	クロスリー 真優 6-0 2-6 6-1	クロスリー 真優 6-4 7-6(5)
中里 亜優菜 (佳原SSC)			
竹内 星妃 (あじさいMTCアカデミー)	クロスリー 真優 6-3 6-4	クロスリー 真優 6-0 2-6 6-1	クロスリー 真優 6-4 7-6(5)
クロスリー 真優 (ENDEAVOR)			

○12歳以下女子ダブルス

クロスリー 真優 (ENDEAVOR)	クロスリー・田島 7-5 6-4	北原・金巻 6-3 5-7 [10-7]
田島 楓 (TEAM YONEZAWA)		
伊東 磨希 (U.T.PあたとTC)	北原・金巻 6-2 3-6 [10-2]	北原・金巻 6-3 5-7 [10-7]
辻岡 史帆 (SYT月見野テニススクール)		
北原 結乃 (Team YUKA)	北原・金巻 6-2 3-6 [10-2]	北原・金巻 6-3 5-7 [10-7]
金巻 知里 (葉山テニスクラブ)		
坂口 依澄 (Team YUKA)	北原・金巻 6-2 3-6 [10-2]	北原・金巻 6-3 5-7 [10-7]
菅野 愛渚 (パームインターナショナルテニスアカデミー)		



優勝 石井 さやか (Team REC) 左

会場でサポートしてくれた両親やコーチに対して先ず感謝で一杯です。少しメンタル面で試合が上手いかなかったけれど優勝できて嬉しかったです。今後の目標は、全日本ジュニアでの上位入賞、そのためにメンタル面を強化し、技術面ではサーブの確率を上げること。暑さにも負けないように身体を鍛えます。ウインブルドンで活躍すると共に世界でも戦える選手になりたい。



優勝 クロスリー 真優 (ENDEAVOR) 左

今日は少し緊張していましたが、沢山の人が応援してくれたお陰で優勝することができました。全国大会も頑張ります。球種の違うボールを打ち分け、最後はボレーで決めるスタイルの選手になりたい。スピンボールをどんどん打てるように練習する。先ずは全国大会で優勝し、将来はウインブルドン大会で戦える選手になりたい。

関東ジュニア選手権会場でのPLAY&STAYイベントの報告

日程:2018年7月14日(土)~15日(日) 場所:白子地区テニスコート7面使用

指導を田辺 学委員、横松尚志委員、補助を東洋学園大学テニス部員3名による運営。

レッド・オレンジボールイベント参加者延べ20名

グリーンボールイベント参加者延べ111名

両日ともにレッド・オレンジボールイベントを8歳前後以下の小学生を対象に午前中に1回、グリーンボールマッチ練習会を、それ以上の小学生を対象に午前及び午後1回ずつ行った。

現在の形になって今回が3回目、年々参加数も増えて盛況であった。多くは関東ジュニア選手権大会出場の兄弟姉妹、そして、現地で合宿を行っている関東一円のクラブ、スクールのジュニア選手であった。



第36回 第一生命全国小学生テニス選手権大会

平成30年7月27日(金)～30日(月) 会場:第一生命相模園グラウンドテニスコート



今年の全国小学生テニス選手権大会は、ドロー数が男女各48から64に変更になり、そのため日程も一日延びた。試合形式も、結果的には3ラウンドまでは8ゲームプロセットで、準々決勝から3セットマッチであった。28日は、台風の影響で終日の日程が中止になった。

男子は64人中19人、女子は17人が関東地域からの出場であった。

男子はベスト8に残ったのは、関東勢では前田(千葉)、神山(東京)、櫻井(東京)、金子(東京)、宮川(埼玉)の5人であった。同じく女子では、北原(神奈川)、クロスリー真優(東京)、名雪(神奈川)、中里(神奈川)の4人が勝ち残った。

男子第1シードの前田(千葉)と神山(東京)のQFは、前田が6361のストレートでベスト4に進出した。ノーシードから勝ち上がって来た若松(滋賀)と櫻井(東京)は、のびのびとプレーした若松が6363で勝った。金子(東京)と浅田(宮崎)は、浅田が6362で、宮川(埼玉)と富田(愛知)は、富田が6261で勝ち上がった。

女子のQFの、北原(神奈川)と津田(愛知)は、1セット目をタイブレークでものにした津田が76(6)62と勝ち、クロスリー真優(東京)と成田(愛知)の対戦は、淡々とプレーした成田が466464で勝ち残った。岸本(福岡)と名雪(神奈川)は、名雪が625776(5)のフルセットでの勝利であった。林(三重)と中里(神奈川)は、1セット目を落とした中里が166364と逆転で勝った。

男子のSFは、第1シードの前田(千葉)とノーシードから勝ち残っている若松(滋賀)との対戦であったが、6064のストレートで若松が決勝に進出した。もう一つのSFは、浅田(宮崎)と富田(愛知)の対戦で、3シードの浅田が2シードの富田に640664で競り勝った。

女子のSFは、津田(愛知)と成田(愛知)の同県同士の戦いであったが、調子を上げている成田が76(6)4664のフルセットの末、決勝に進出し、名雪(神奈川)と中里(神奈川)のこちらも同県同士の対戦であったが、中里が6261のストレートで勝ち上がった。

男子決勝は、ノーシードからのファイナリスト若松(滋賀)が3シードの浅田(宮崎)に466464の逆転で見事に優勝した。

女子の決勝は同県同士の戦いに勝ってきた中里(神奈川)と成田(愛知)との対戦であった。中里が6264のストレートでの優勝であった。

準決勝以上の結果

男子シングルス

前田 透空 (千葉)	若松	
若松 泰地 (滋賀)	60 64	若松
浅田 紘輔 (宮崎)	浅田	46 64 64
富田 悠太 (愛知)	64 06 64	

女子シングルス

津田 梨央 (愛知)	成田	
成田 百那 (愛知)	76(6) 46 64	中里
名雪 芹 (神奈川)	中里	62 64
中里 亜優菜 (神奈川)	62 61	



右から優勝の若松、2位の浅田、3位の富田・前田



左から優勝の中里、2位の成田、3位の津田・名雪

ATF 14/U 須玉国際ジュニアテニストーナメント2018

2018年6月30日(土)～7月6日(金)山梨県北杜市・クラブヴェルデ



ATF(アジアテニス連盟)公認の14/U須玉国際ジュニアトーナメントが今年も実施されました。今年も前週の須玉国際ジュニアWeek1に引き続き実施されましたが、今年は海外からの参加が少なく、男子の予選、本戦共に2名のみの参加でした。また今年も上位者は関東勢が占め、男女ともベスト8の内6名が関東勢となりました。雨天のためインドアで行われた決勝戦は、男子は佐藤駿弥(東北テニス協会)が7-6(4),6-2のストレートで三好健太(桜田倶楽部)に勝利し、女子は奥脇莉音(Fテニス)が丸山麗菜(Team YUKA)に7-5,6-2のやはりストレートで勝利し関東勢対決を制しました。今年全般を通じて雨天が多く、サーフェス変更などでコンディション調整が難しかったようです。また例年通りシングルス本戦はコンパスドローにより32位まで決定し、各位ポイント付与および表彰を行ないました。また今回も男女シングルス優勝者には、8月に行われるITF兵庫国際ジュニアテニストーナメントの予選出場権が授与されました。



<写真左から>

男子単準優勝の三好健太、男子単優勝の佐藤駿弥、女子単準優勝の丸山麗菜、女子単優勝の奥脇莉音

(男子シングルス順位)<1～10位まで>

- 優勝 佐藤駿弥(東北テニス協会)
- 準優勝 三好健太(桜田倶楽部)
- 3位 村上 涼(八王子テニスアカデミー)
- 4位 渡邊拓己(関西テニス協会)
- 5位 三城貴雅(荏原SSC)
- 6位 松田一優(荏原SSC)
- 7位 田中岳太(桜田倶楽部)
- 8位 松浦麟太郎(青葉台ローンテニスクラブ)
- 9位 Chen-Yu Lu(TPE)
- 10位 吉村直紀(東海テニス協会)

(女子シングルス順位)<1～10位まで>

- 優勝 奥脇莉音(Fテニス)
- 準優勝 丸山麗菜(Team YUKA)
- 3位 長谷川采香(たちかわジュニアテニスアカデミー)
- 4位 梅田萌果(クラージュTS)
- 5位 クロスリー真優(ENDEAVOR)
- 6位 寺田絵里花(狛江インドアジュニアATPチーム)
- 7位 奥野柚来(ダイヤモンドTC 学園前)
- 8位 林 妃菜(大阪府テニス協会)
- 9位 阿出川暖乃(Team REC)
- 10位 風間菜花(グリーンテニスプラザ)



<男子ダブルス>

- 優勝 Chen-Yu Lu(TPE)
Hongyi Zeng(CHN)
- 準優勝 仁島清嘉(狛江インドアジュニアATPチーム)
村上 涼(八王子テニスアカデミー)

<写真右がLu・Zeng組>



<女子ダブルス>

- 優勝 林 妃菜(大阪府テニス協会)
田中愛美(大阪府テニス協会)
- 準優勝 小林海夢(名古屋GTC)
梅田萌果(クラージュTS)

<写真右が林・田中組>



第45回全国中学生テニス選手権大会

広島県広島市 広島広域公園テニスコート 2018年8月18日(土)~24日(金)



- 団体戦 男子:日大第三(東京)が準決勝で富岡(神奈川)に勝利、決勝では浪速(大阪)に惜敗して準優勝。準決勝で浪速(大阪)に破れた聖徳(東京)はベスト4。成蹊(東京)・サレジオ(神奈川)が8に入った。
- 団体戦 女子:第二シードの桐光(神奈川)と昨年優勝の小平第二(東京)が準決勝で対戦し、桐光(神奈川)が決勝に進出した。決勝は、城南(大阪)との対戦で、桐光(神奈川)は惜しくも準優勝であった。優勝した城南(大阪)に敗れた小谷場(埼玉)がベスト4。
- 個人戦 男子シングルス:小泉熙毅(埼玉・新座市立新座中)、有本 響(神奈川・川崎市立有馬中)、上野山大洋(群馬前橋市立桂萱中)の関東勢3人が準決勝進出。決勝戦は、上野山に勝利した有本と小泉の対戦となり、有本が優勝を獲得した。ベスト8に森田皐介(埼玉・本庄市立本庄東中)と駒形怜哉(東京・世田谷区立砧中)が入った。
- 個人戦 男子ダブルス:鹿川・福島(東京・江東区立深川第三中)が決勝戦進出、惜しくも準優勝。他は、ベスト8に3組が入るにとどまった。
- 個人戦 女子シングルス:中川由羅(神奈川・横浜市立中川中)が、第一シードを守って優勝。ベスト4に古賀彩花(千葉・野田市立南部中)が入った。
- 個人戦 女子ダブルス:金子・内島(東京・小平市立小平第二中)が決勝戦で、奥野・高山(奈良・生駒市立上中)と対戦、惜しくも準優勝。宮・冨田(神奈川・横浜市立富岡中)は1回戦第一シードに勝利、準決勝では優勝した奥野・高山組に惜敗したが、ベスト4の健闘であった。

平成30年度全国高等学校総合体育大会テニス競技大会・2018 彩る感動 東海総体

霞ヶ浦テニスコート・四日市ドーム・三滝テニスコート 8月2日(木)~8日(水)



男子団体決勝は、2年連続の秀明八千代(千葉)と早稲田実業(東京1)で、関東勢同士の対戦となり秀明八千代(千葉)が優勝を飾った。日出(東京2)、湘南工大附(神奈川1)、法政二(神奈川2)がベスト8に入った。

女子団体は、山梨学院(山梨)と白鷗女子(神奈川2)がベスト8に入る健闘にとどまった。

個人戦男子で特筆すべきは、秀明八千代高校の白石 光選手が団体、個人単・複(ペアは坂川広樹選手)で優勝、男子史上19人目の3冠王者を達成したことである。シングルス優勝は白石 光選手、ベスト4に松田康希選手(神奈川・湘南工大附)、ベスト8に齋藤恵佑選手(東京・日出)であった。ダブルスは関東勢の対戦で、白石 光・坂川広樹組(千葉・秀明八千代)が優勝、松下龍馬・間仲 啓組(埼玉:秀明英光)が準優勝。

個人戦女子のシングルスは、ベスト4に齊藤 唯選手(東京・早稲田実業)、ベスト8に西郷里奈選手(千葉・秀明八千代)が入った。ダブルスは、石川琴実・野口綾那組(神奈川・白鷗女子)が優勝し、このペアと準決勝で対戦した矢崎梓紗・足立理帆組(埼玉・山村学園)がベスト4であった。

DUNLOP SRIXON全日本ジュニアテニス選手権'18

supported by NISSHINBO

2018.8.8~8.14 江坂テニスセンター 2018.8.9~8.17 靱テニスセンター 予備日8/18



〇18歳以下男子シングルス

田島 尚輝 (関東・TEAM YONEZAWA)	}	田島	}	田島
川上 倫平 (関東・荏原SSC)		61 60		64 64
山中 太陽 (関西・西宮TC)	}	藤原	}	
藤原 智也 (関西・東山高)		63 57 61		

〇18歳以下女子シングルス

小林 ほの香 (関東・荏原SSC)	}	小林	}	坂詰
猪川 結花 (中国・岡山学芸館高)		63 46 64		76(2) 36 61
川村 茉那 (関東・CSJ)	}	坂詰	}	
坂詰 姫野 (北信越・Team YUKA)		64 63		

〇16歳以下男子シングルス

三井 駿介 (東海・アスボーツクラブ)	}	三井	}	三井
石井 涼太 (関東・INABA T.S.)		64 36 64		61 64
磯村 志 (中国・やすいそ庭球部)	}	磯村	}	
間仲 啓 (関東・秀明英光高)		64 60		

〇16歳以下女子シングルス

今村 咲 (関西・パブリックテニス小倉)	}	今村	}	今村
新見 小晴 (中国・柳生園TC)		46 63 64		60 62
石橋 彩由 (関東・アートビルTC)	}	石橋	}	
松田 絵理香 (関東・レニックスTS)		64 60		

〇14歳以下男子シングルス

水口 翔瑛 (関西・テニスプラザ'尼崎)	}	水口	}	水口
原崎 朝陽 (関西・テニスプラザ'尼崎)		63 36 64		63 63
笹元 紀吾 (関東・レニックスTS)	}	山田	}	
山田 矢音 (関東・桜田倶楽部)		63 46 64		

〇14歳以下女子シングルス

石井 さやか (関東・Team REC)	}	麻坂	}	光崎
麻坂 芽生 (関東・フヤエース市川TA)		63 63		62 64
光崎 澪 (東海・h2エリートTA)	}	光崎	}	
久保 結希風 (北信越・津幡ジュニア)		63 46 63		

〇12歳以下男子シングルス

若松 泰地 (関西・パブリックTE)	}	若松	}	富田
小柳 遥人 (北海道・SFC)		61 64		62 62
富田 悠太 (東海・チェリーTC)	}	富田	}	
武藤 守生 (九州・福岡パシフィックTA)		67(1) 63 76(3)		

〇12歳以下女子シングルス

クロスリー 真優 (関東・ENDEAVOR)	}	クロスリー	}	中里
金巻 知里 (関東・葉山TC)		64 61		46 75 60
河野 望奈 (中国・チェリーTC)	}	中里	}	
中里 亜優菜 (関東・荏原SSC)		76(3) 64		

〇18歳以下男子ダブルス

市川 泰誠 (関西・西宮甲英高)	}	}	}	市川・渡邊
渡邊 聖太 (関西・神村学園神戸)				63 63
川上 倫平 (関東・荏原SSC)	}	}	}	
田中 瑛大 (関東・荏原SSC)				

〇18歳以下女子ダブルス

伊藤 さつき (関西・トップランAIOI)	}	}	}	伊藤・中島
中島 美夢 (関西・トップランAIOI)				76(3) 64
田中 菜冴美 (関西・トップランAIOI)	}	}	}	
古賀 麻尋 (関西・トップランAIOI)				

〇16歳以下男子ダブルス

間仲 啓 (関東・秀明英光高)	}	}	}	間仲・三井
三井 駿介 (東海・アスボーツクラブ)				64 61
七尾 岳俊 (九州・柳川高)	}	}	}	
小川 智裕 (九州・柳川高)				

〇16歳以下女子ダブルス

西 飛奈 (関東・昭和の森ジュニアTS)	}	}	}	長谷川・谷
内島 舞子 (関東・昭和の森ジュニアTS)				63 75
長谷川 愛依 (東海・岐阜インターナショナルTC)	}	}	}	
谷 美七海 (東海・誉高)				

〇14歳以下男子ダブルス

楠戸 遥葵 (関西・星田TC)	}	}	}	橋本・山内
図師 奨之介 (関西C's RACQUET CLUB)				64 62
橋本 圭史 (関東・フヤエース市川TA)	}	}	}	
山内 日斗 (関東・フヤエース市川TA)				

〇14歳以下女子ダブルス

林 妃菜 (関西・浪速中)	}	}	}	林・中村
中村 陽 (関西・城南学園)				62 61
堀江 菜実 (九州・トリームTS)	}	}	}	
宮原 千佳 (九州・キングフィッシャー)				

〇12歳以下男子ダブルス

遊川 大和 (関西・TENNIS SUPPORT 梅塾)	}	}	}	武藤・松永
本山 知苑 (関西・tennis365.net)				06 63 11-9
武藤 守生 (九州・福岡パシフィックTA)	}	}	}	
松永 朔太郎 (九州・TIN)				

〇12歳以下女子ダブルス

北原 結乃 (関東・Team YUKA)	}	}	}	北原・金巻
金巻 知里 (関東・葉山TC)				75 62
神鳥 ひかる (東海・森林ロングウッド)	}	}	}	
津田 梨央 (東海・ウイテニスアカデミー瀬戸)				

第4回グラスホパージュニアテニスクャンプ

～夢はウインブルドンへ！

2018年8月17日(金)～8月23日(木) 於:グラスコート佐賀テニスクラブ



『夢はウインブルドンへ』をスローガンに優れたテニス選手になるには、単にテニスの技術や体力の向上だけではなく、日常生活の行動の質によって大きく差が表れます。

この考えに立ち、『テニスと生活』というテーマのもとに小学生までに身に付けてほしい『テニス』と『生活』の獲得を目指し、1週間オンコート、オフコートを含め、選手たちのレベルアップに取り組んでいくキャンプです。

これらを目的目標にし、1週間の集団生活が始まりました。

テニスのテーマは、基本の見直し。『姿勢』をテーマに徹底的に行われました。

スケジュールの前半は、朝から夕方までテニスの練習。夜は、講習会。

中間に、佐賀観光、幕末維新会と、バルーンミュージアムに向かいました。

後半は、団体戦で熱い戦いが行われました。

1週間は、あっという間に終わってしまいました。

球出しとは？ コーチとは？ 団体戦の監督、トレーナーによるトレーニング。

選手にとっても、コーチにとっても最高の1週間です。

最高の環境をご提供いただきました佐賀グリーンテニスクラブ様、グラスホパー実行委員の皆様、関東テニス協会様、このような機会をいただきありがとうございます。ぜひ、いろいろな選手たち、コーチたちにもこのキャンプに参加していただき、チーム関東として、レベルアップしてほしいと思います。

来年も機会があれば、参加させてください。



第57回関東実業団対抗テニストーナメント (ビジネスパル・テニス関東大会)

平成30年7月14日(土)・15日(日) 会場:千葉県千葉市フクダ電子ヒルスコート



関東1都7県から男子20チーム、女子12チームが参加。例年は雨が心配な時期ですが今年は灼熱の暑さの中、全国大会出場チームを決定し、無事に閉会しました。

決勝では、男女とも1-1で残ったダブルスが紙一重の勝負となり、当該チーム以外の人も固唾を飲んで拍手、声援を送っていました。

本大会では男子の参加チームを従来の16から20に増やしました。

試合数が増えすぎないように事前に工夫をしておりましたが、新しい試みをすることで当日の運営委員への負担が大きく、今後の大会への課題となりました。

また、今回も女子の代表チームを出せない県がでており、継続的な課題となっております。

稿を終えるにあたり本大会運営関係者各位の多大なる御協力、御支援に深謝いたします。



【男子】	所属	チーム名	【女子】	所属	チーム名
優勝	千葉	新日本建設	優勝	神奈川	三菱電機・鎌倉
準優勝	東京	エームサービス	準優勝	東京	NTTデータ
3位	千葉	ルネサンス	3位	東京	ヨネックス
4位	千葉	千葉市役所	4位	千葉	日本航空
5位	東京	NTTデータ	5位	東京	JTB
	東京	レック興発	6位	茨城	原科研

※男子・新日本建設は7年ぶり4回目の優勝。

※女子・三菱電機・鎌倉は2年連続4回目の優勝。

男女とも上位各6チームが第57回全国実業団対抗テニス大会に出場します。

第33回関東実業団対抗テニスリーグ戦

平成30年9月7日(金)～9日(日) 会場:ALSOKぐんまテニスコート



関東1都7県から男子16チーム、女子8チームが参加して、9月7日から9日まで群馬県前橋市のALSOKぐんまテニスコートにて、実施されました。

3日間ほぼ天候に恵まれ試合は順調に進みましたが、懇親会出席予定のダンロップマーケティング様が、9/6(木)の北海道地震により千歳空港に足止めされて参加できなくなるというハプニングが発生し、急遽澁澤群馬県テニス協会会長に乾杯の音頭の代役をお願いして、つつがなく懇親会を終わらせることができました。

今回の大会から男子の決勝トーナメントでは予選各ブロック1位と2位、計8チームのプレーオフ形式とし、予選リーグで2位となったチームにも優勝できる試合形式に変更したことで、優勝を懸けた熱戦が繰り広げられました。結果は、男子優勝がワールド航空サービス、女子優勝が第一生命となり、両チーム共、初めての栄冠を勝ち取りました。

なお、男子は4位まで、女子は準優勝まで東京代表チームが独占、東京地区のレベルが高い感を受けました。

また、今回女子チームの辞退が4県であり、12チームの予定が8チームに減少してしまいました。女子チームの参加数が少ない傾向は近年続いており、今後、参加数が増加していくよう、継続努力していきます。

8月開催の全国大会、第32回全国実業団対抗テニストーナメントへは男子5チーム、女子6チームが出場します。全国大会での関東勢の活躍を祈念致します。

最後に本大会運営にあたり、多大なるご支援、ご協力を頂き、深く感謝致します。



男子	所属	チーム名	女子	所属	チーム名
優勝	東京	ワールド航空サービス	優勝	東京	第一生命
準優勝	東京	三菱マテリアル	準優勝	東京	みずほフィナンシャルグループ
3位	東京	テニスユニバース	3位	神奈川	三菱電機
4位	東京	日本紙通商	4位	栃木	栃木県教職員
5位	埼玉	プリチストンスポーツアリーナ	5位	東京	花王
6位	東京	東京海上日動	6位	神奈川	横浜市役所
7位	千葉	千葉市役所	7位	千葉	京葉銀行
8位	栃木	栃木銀行	8位	東京	三菱UFJ銀行

第42回全日本都市対抗テニス大会

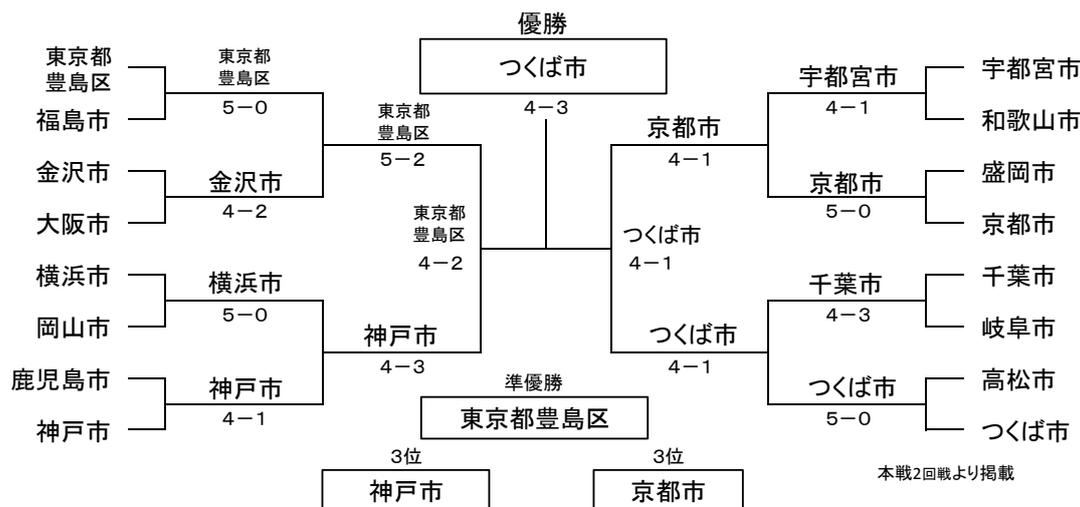
(いきいき茨城ゆめ国体テニス競技リハーサル大会)

2018年7月26日(木)～29日(日) 於:神栖海浜庭球場



関東地区は本戦ストレートインの東京都豊島区、横浜市、千葉市、つくば市、関東地域予選を勝ち抜いた 所沢市、宇都宮市、および開催県神栖市の7チームが出場した。台風12号の影響で2回戦から準決勝は6ゲームマッチとなったが、ベスト8に東京都豊島区、横浜市、宇都宮市、千葉市、つくば市の5都市が勝ち残り、決勝戦は1シードの東京都豊島区と2シードのつくば市の対戦となり、つくば市が接戦をものにし栄冠を手にした。また、コンソレーションでは所沢市が優勝するなど、関東勢が活躍した大会であった。

次年度参加枠は、全国9地域に基礎枠24を配分したところに、過去2年の成績を配点して算出したドント配分枠を追加して決める。鹿児島市で開催される2020もゆる感動かごしま国体リハーサル大会の参加枠は、優勝のつくば市を含めて関東地区7枠を獲得している。



第73回国民体育大会(2018福井しあわせ元気国体)テニス競技

2018年9月30日(日)～10月3日(水) 於:福井市わかばテニスコート、福井県営テニス場



台風24号の直撃により3日間に短縮され1,2回戦は6ゲームマッチと厳しい戦いとなったが、関東勢は少年男子が1位埼玉、2位神奈川、3位東京、5位千葉、少年女子が2位埼玉、3位千葉、4位神奈川、8位東京、と男女ともベスト8を4都県が占め活躍が目立った。成年女子も1位埼玉、2位茨城、8位千葉で上位を占めた。成年男子は、4位埼玉のみが入賞した。

テニス競技天皇杯(男女総合成績)は、1位埼玉、3位神奈川、5位千葉が入賞、テニス競技皇后杯(女子総合成績)は、1位埼玉、4位茨城、4位千葉、7位神奈川の入賞となった。特に埼玉県は全種目がベスト4以上であり、天皇杯、皇后杯とも2位以下に大差をつけて獲得したことは素晴らしい結果であった。

次年度国体参加枠は、全国9地域に基礎枠24を配分したところに、過去2年の成績を配点して算出したドント配分枠を追加して決める。第74回いきいき茨城ゆめ国体2019の参加枠は、開催県・茨城の1枠を加え成年男子6枠、成年女子8枠を獲得している。

第73回国民体育大会(2018福井しあわせ元気国体) テニス競技1位～8位 成績一覧表

	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子		天皇杯(男女総合)		皇后杯(女子総合)
1位	愛媛県	埼玉県	埼玉県	愛知県	1位	埼玉県	1位	埼玉県
2位	大阪府	茨城県	神奈川県	埼玉県	2位	愛媛県	2位	愛知県
3位	岡山県	愛媛県	東京都	千葉県	3位	神奈川県	2位	三重県
4位	埼玉県	兵庫県	兵庫県	神奈川県	3位	三重県	4位	茨城県
5位	三重県	三重県	千葉県	三重県	5位	千葉県	4位	千葉県
6位	福井県	福井県	岐阜県	広島県	5位	兵庫県	6位	愛媛県
7位	福岡県	岡山県	大分県	福井県	7位	愛知県	7位	神奈川県
8位	兵庫県	千葉県	愛知県	東京都	8位	福井県	7位	福井県
					8位	岡山県	7位	兵庫県

第26回指導者のためのリフレッシュ講習会

2018年7月7日(土)東洋学園大学 流山キャンパス(教室及び体育館)



主催:関東テニス協会

公認:(公財)日本テニス協会

参加者数:75名 受講料:5,000円

ポイント:指導者研修 2ポイント 公認審判員資格者 2ポイント

講師:井上直子氏(JTAコーチング委員会 委員長)

大久保範子氏(JTA審判委員会 副委員長 A級チーフアンパイア)

田島孝彦氏(JTAテクニカルサポート委員会 委員長)

講習会の概要:

○日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者制度改定について

○JTAルールブック2018年度版 追記及び改定について

○大人のためのコーディネーショントレーニング

○大人のためのテニスエクスプレス

委員長・強化普及本部長の挨拶に始まり各講師による和やかに座学・実技の講習会が開催され終了致しました。



委員会よりお知らせ



〈審判委員会〉

2018.3.11国立オリンピック記念青少年総合センターにて関東テニス協会主催のルール講習会が開催され、120名が受講しました。

講師の岡川恵美子氏は現役時代には全日本選手権優勝・フェド杯日本代表という日本女子テニス界をリードした選手、現在は国内の数多くの国際大会でレフェリー、主審として活躍されております。

今年のルールについてはセルフジャッジの方法、ロービングアンパイアの仕事など改正点が多く、審判員としての正しい対応方法を解説していただきました。また、選手の立場での考え方、価値観で講義していただき、大会の現場で役立つ最新のルールを身につけることができました。

今回は申込者が多数となり、会場定員の関係で受講していただけない方には大変ご迷惑をおかけしました。この結果を踏まえて、次回は2019年3月9日(土)国立オリンピック記念青少年総合センターの200人室を確保いたしましたので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

